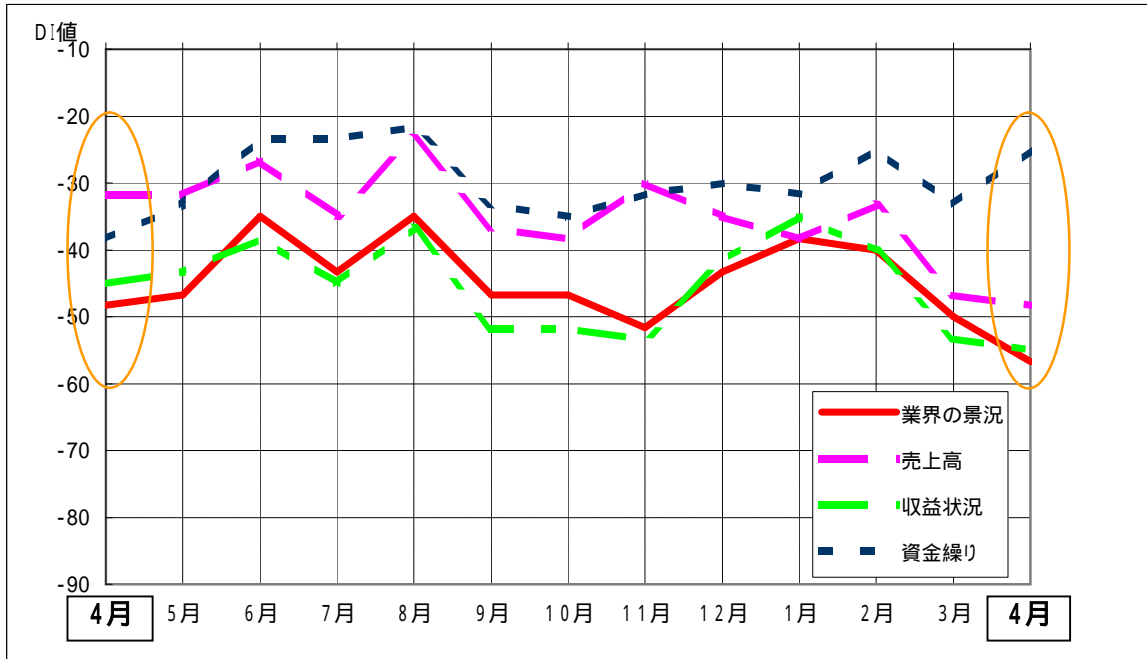


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成22年4月～平成23年4月

単位:ポイント



	H22				H23								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
業界の景況	-48.3	-46.7	-35.0	-43.3	-35.0	-46.7	-46.7	-51.7	-43.3	-38.3	-40.0	-50.0	-56.7
売上高	-31.7	-31.7	-26.7	-35.0	-23.3	-36.7	-38.3	-30.0	-35.0	-38.3	-33.3	-46.7	-48.3
収益状況	-45.0	-43.3	-38.3	-45.0	-36.7	-51.7	-51.7	-53.3	-41.7	-35.0	-40.0	-53.3	-55.0
資金繰り	-38.3	-33.3	-23.3	-23.3	-21.7	-33.3	-35.0	-31.7	-30.0	-31.7	-25.0	-33.3	-25.0

4月のDI値は前年同月に比べ、16ヶ月ぶりに3項目が悪化した。「業界の景況」DI値は8.4ポイント、「売上高」DI値は16.6ポイント、「収益状況」DI値は10ポイントとそれぞれ悪化し、「資金繰り」DI値は13.3ポイント改善した。製造業と非製造業との比較では、非製造業の方が「売上高」で37ポイント、「収益状況」で29.5ポイント、「業界の景況」で19.2ポイントと低い値を示しており、その差は前月よりも縮まっている。なお、前月比で見ると、「業界の景況」は6.7ポイント、「売上高」は1.6ポイント、「収益状況」は1.7ポイントとそれぞれ悪化した、「資金繰り」は8.3ポイント改善した。東日本大震災、部品調達難による生産減少や自粛ムードによる影響が続いており、先行きが見えないという声が高まっている。

組合の特記事項からは、東日本大震災の影響が様々な面で生じていることが指摘されており、食料品製造業、繊維・繊維製品製造業、木材・木製品製造業等では、原材料の不足や仕入の遅れが出ているという声、鉄鋼・金属製造業、一般機器製造業では、業種によりバラツキがあるものの受注が減少しているという声があった。非製造業では、卸売業、商店街を中心に自粛ムードにより売上が減少しているという声が多い。また、これから夏期にかけて予想される計画停電・節電に関する的確な情報を求める要望も寄せられた。